

真室川 仕事見聞録

Vol.13

～働く現場へ突撃インタビュー!!～

ふれあい薬局



受付事務作業

Q. 就職を決めたきっかけはなんですか？
佐々木 小さい頃から医療関係の仕事に興味があり、大学に進学し薬剤師になることを決めました。大学卒業後は、薬剤師として勤め、2年前からこのふれあい薬局で管理薬剤師として働いています。
齋藤 前職でも調剤薬局の事務として働いていました。結婚を機に真室川町に来て、前職と同じ調剤薬局事務の求人を見て就職しました。

今回は、「町のおくすり屋さん」として地元で根付いた店舗を目指し、地域医療に貢献しているふれあい薬局さんにご協力いただき、町内企業で働く方にインタビューしました。



薬の調剤

Q. やりがいはなんですか？
佐々木 もともと、薬剤師になりたいと思ったのが、コミュニケーションをとりながら

齋藤 調剤薬局の事務職として、受付業務や会計業務、薬剤師のサポートを行っています。和気あいあいとした職場で、産休・育休や時間休などもとれるので、育児と仕事の両立ができるとてもいい職場だと思います。

Q. 仕事の内容と勤めてみての感想
佐々木 管理薬剤師として、人員管理や物品管理などの店舗を管理しながら、薬剤師としても薬の調剤を行っています。今までいろいろな店舗を経験してきましたが、いらつしやる患者さんたちが気さくでやさしく、スタッフも優秀なので、とても働きやすい環境です。



ふれあい薬局

真室川町大字新町475-5
 管理薬剤師：佐々木 陽平

※「事業所をPRしたい」といったお考えをお持ちの方は、ぜひ町企画課までご連絡ください。



齋藤 理絵さん 佐々木陽平さん

患者さんに寄り添える職業だと思い薬剤師を目指したので、薬を処方したときに「ありがたいさま」と言っていただけで、とても嬉しくやりがいを感じます。
齋藤 薬や調剤報酬のことを勉強して、専門的な知識を身に付け、自分にしか気付けないことに気付けたときは、患者さんのためになったなとやりがいを感じます。

選評・講評

「つつい感謝を忘れてしまいます。もし、いなかったらを想像してみました。」
 by 前田有歩 (写真作家・山形市)



#除雪作業員に感謝 #吹雪

● Date : 2/21 ● ID : jiise_la_musica

Instagram

フォトジェニックまむろ

#photogenicmamuro

第七二回

3月の真室川は力強く春に向かう季節。水芭蕉の脇をキラキラと雪解け水が流れ、ぱっくも猫も陽気に誘われて顔を出します。

開始時から本コーナーを担当させてもらい、この間、町の素敵な写真に沢山触れることができました。投稿いただいた1枚1枚が宝物です。4月から新しい担当になります。引き続きフォトジェニックまむろを宜しくお願いします。

移住定住推進員 梶村



「広報まむろがわ」は再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。